

横浜市港南公会堂

指定管理者選定委員会（第2回委員会）議事要旨

開催日時	令和2年8月27日（木） 9時00分から11時00分まで
開催場所	区役所301・302会議室
出席者	影山委員長、太下委員、川西委員、林委員（計4名）
傍聴者	5名
議題	はじめに（横浜市港南公会堂の指定管理者の選定について） 1 面接審査 2 審議
面接審査 審議	1 面接審査 1 団体あたり、10分間のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答を行った。 【主な質疑応答】 《株式会社清光社》 〈委員〉 プレゼンテーションでは人員配置が15名ということだったが、提案書では13名となっている。どちらが正しいのか。また、収支予算書等の金額も変わるのではないか。 〈回答〉 提案書の記載がまちがっており、15名が正しい。積算は15名で行っているため、収支予算書の変更はない。 〈委員〉 利用者満足度95%を目指すということだが、具体的にどういった手法を考えているか。 〈回答〉 施設が新しくなることで満足度が上がることが見込まれるが、従来の下見や事前打合せ、当日サポートの充実に加え、新規に情報発信及び新規事業の充実を考えている。 〈委員〉 文化芸術活動の発信として無料体験プログラムが提案されているが、なぜ無料としたのか。ワンコインなど少額でも有料としてもよいのではないか。 〈回答〉 公会堂に一度来てもらう、区内で新たに文化芸術活動に興味を持つ方を増やすことを目的に無料としているが、今後の事業の展開次第では変更する場合もある。 〈委員〉 満足度アンケートなど利用者の声を聴く際に工夫している点は何か。 〈回答〉 数値だけではなく、具体的にアンケートに書かれた意見を取り入れている。また、利用者の声を参考に項目作りを行っている。 〈委員〉 アンケートを詳細にすると回答の手間が増え、回答率が下がることも考えられる。アンケートを詳細にすることだけでなく、結果の要因分析をしっかりと行って欲しい。 〈回答〉 気を付ける。 〈委員〉

優先調達について市内中小企業への発注だけではなく、障害者団体への優先調達やグリーン購入への取り組み方針はあるか。

〈回答〉

障害者団体及び障害者を広く雇用する団体への発注を行っている。また、清光社として障害者の雇用も行っており、法定雇用率を超えた数字を維持している。

《一般社団法人こうなん区民利用施設協会》

〈委員〉

ホールに予約がなかった場合に、公演を予定しているリハーサルなど観客を入れない用途に限り特別割引で貸出を行うと提案があるが、本番を他のホールで行う利用者でも利用は可能か。また、貸出方法としてはどう行うのか。PR等はどう行っていくのか。

〈回答〉

貸出方法としては提案書通りの利用枠を半額にしてお貸しする。PRは受託開始と同時にHPや利用団体に対し行っていく。

〈委員〉

ひまわりの郷との連携を提案しているが、どうやって行っていくのか。

〈回答〉

施設の維持管理としての委託契約や舞台運営、舞台設備プログラムの研修等を考えている。区内でホールを持つ施設として競争ではなく協力をしていく。

〈委員〉

連携は良いと思うが、ひまわりの郷とは求められる役割が異なるため、ひまわりの郷の利用者だけでなく幅広い層の利用者が使用できるよう配慮して欲しい。

〈回答〉

配慮する。

〈委員〉

現在の管理している施設でのコロナ対策など教えて欲しい。

〈回答〉

市の基準を遵守し、検温・消毒及び清掃の徹底を行っている。公会堂では規模が大きくなり一度の利用者が増えることを想定し、サーモグラフィの導入も検討している。

〈委員〉

旧港南公会堂の課題があれば教えて欲しい。

〈回答〉

全体の利用率は高いが、和室など特定の部屋の利用率が低いこと、利用率の高さに比べ収入が低いことが課題。区役所の上階層という立地上、一般の方が入りやすく、行政による減免利用が多かったことが要因と思われるが、建て替えにより一般の方も入りやすさは改善されると思われる。

〈委員〉

満足度アンケートなど利用者の声を聴く際に工夫している点、意見の反映の仕方として工夫している点は何か。

〈回答〉

利用者会議を行うことで直接意見をお聞きしている。また、要望があった場合は対応状況について文面化し、館内掲示により誰でも確認できるようにしている。要望により、鏡の増設など様々

な改善を行っている。

公会堂では地区センターよりも利用者数が多く様々な団体が利用することが想定されるため、利用者会議もより多くの方から意見を聞けるよう拡大し、館長をはじめとしたスタッフと利用者との間で顔の見える関係づくりを行っていく。

〈委員〉

優先調達について市内中小企業への発注だけではなく、障害者団体への優先調達やグリーン購入への取り組み方針はあるか。

〈回答〉

対象品となるものは全てグリーン購入を行っている。中小企業への発注も技術的に対応が可能なものは市内中小企業への発注を行い、全体の98%を占めている。障害者団体への大きな契約はないが、施設祭りへのブース出展など積極的に連携を行っている。

2 審議

第2期横浜市港南公会堂の指定管理者を選定するにあたり、第1回選定委員会で定めた評価準項目に則り評価を行った結果、株式会社清光社を指定候補者として選定した。

【委員意見】

《株式会社清光社》

〈委員〉

団体として公会堂施設管理の業務実績があるため信頼がある。

〈委員〉

公会堂フェスティバルをはじめ、体験プログラムや他施設へのアウトリーチなど多彩な文化芸術活動が提案されていた。

〈委員〉

旧港南公会堂の指定管理者であったことと他区の公会堂指定管理を行っていることから自信がうかがえる。一社で管理体制を組めることが強みである。

従事者の人数について15名が正しいとすると、積算の1人あたりの人件費が少ないように思われる。

〈委員〉

マネジメントシステムがしっかりと取り組まれている。またメディアユニバーサルデザインに加え、障害者施設への発注に配慮が行われている。

また、利用者アンケート等で満足度という数字の記録だけでなく、満足度要因を分析し、効果的な取り組みを行えるとよい。

《一般社団こうなん区民利用施設協会》

〈委員〉

ひまわりの郷とのつながりが強く連携が考えられていた。一方で組織形態の複雑さが見受けられた。

〈委員〉

プレゼンテーションで運営について詳細な方針が聞けたように思う。Web予約システムなど利用者の利便性が向上する提案がされていた。

〈委員〉

事務局や他企業など他所と連携を行う形態のため様々な角度から運営を検討する機会がある一方で、複数の団体に関わることで責任所在が不明確になるなどの問題が生じる可能性がある。

	<p>また、ひまわりの郷や地区センターなど他施設とのすみわけが明確ではないように感じられた。</p> <p>〈委員〉</p> <p>特別割引の半額など思い切った工夫がされている点やユニバーサルデザインを心掛けている点が良い。</p> <p>日々の声やアンケートの分析をどのように行うかが分かりにくかった。フィードバックを行うことは良いが、掲示だけだと周知が行き渡らない可能性もある。優先調達については配慮されているが、もう少し踏み込んだ方針があってもよい。</p>
<p>審議結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社清光社を横浜市港南公会堂の指定候補者とする（504点/600点）。 ・一般社団法人こうなん区民利用協会を横浜市港南公会堂の次点候補者とする（432点/600点）
<p>特記事項</p>	<p>特になし</p>